

## 2019 年度 楽患二一ニヨ評価

### 2019 年度の取り組み

- 当園理学療法士から送迎時のシーティングやその他理学的指導を職員および保護者へ展開しています
- 当園言語聴覚士から摂食嚥下に関する指導を保育士、看護師に行い、全体として摂食嚥下を意識して取り組んでいます。

### 保護者等による評価 ※結果データは最終ページ参照

- 活動スペース、内容、専門性については肯定評価多数
- 他園との交流の機会は、いいえ、どちらともいえないとの評価多数
- 子どもの状況について、保護者との連携が取れているとの評価多数
- 保護者同士の連携は、いいえ、どちらともいえないとの評価多数
- 個人情報に十分注意しているとの評価全数
- 子どもは通所を楽しみにしているとの評価全数
- 事業所の支援に満足しているとの評価全数

### 保護者の声

「家では体験することのできない楽しみを感じることができます」

「リハビリは伏臥位排痰ケアなど医療的な活動も織り交ぜていただいているので、帰宅後も調子よく過ごせています」

「想像していたよりもずっと本人の感情が豊かになり親が思うよりも色々なことができるのだと感じています」

「以前より知らない人は初めての人に対して泣いたり嫌がったりしなくなりました」

「自宅ではなかなか進まない ST の面でも根気強く接してくれていて、とても頼りになります」

「色々な工夫をした遊びを取り入れてくれるので良い経験ができていると思う」

「うれしい等の感情が当初はあまり感じられませんが、現在は少しですが感じられるようになりました」

「こちらが気づかないような変化も感じとって報告してくれてうれしかったです」

「見えているのか、聞こえているのか、たのしいかなどいろんな感覚や好奇心などうまく感じるができなかっただけで、連絡帳の出来事などをみて・・・少しずつ成長していることを感じるようになりました」

## 職員アンケート結果

- 個人情報の保護、利用者の人格尊重、個別ケアについて留意しているとの回答多数
- 利用者へのサービスに関する悩みをもつ職員は半数
- 安全管理、体調管理は全員意識しているとの回答
- 最近体調不良ありとの回答あり

## 事業所全体の振り返り

通常の実営は主にリハの充実が評価できます。次に課題としてですが、引き続き緊急時の対応です。重症児を預かる以上、急変などによる緊急事態は避けては通れません。救急車を呼ぶ事態では、事前の訓練、そして事後の振り返りが大切ですが、まだ改善の余地があります。大災害時の対応もしかりです。2020年度の優先事項になります。

2020/3/28

特定非営利活動法人楽患ねっと

理事長 岩本貴

## 保護者等による評価

	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制 整備	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか				定期的に外にもでてくれています
	職員の配置数や専門性は適切ですか				
適切な 支援の 提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、サービス計画が作成されていますか				リハビリの計画などは特に伝えられていません
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか				
保護者への 説明等	他の保育園との交流など、障害のない子どもと活動する機会がありますか				週2回の通園なのでたまたまなかった可能性があるのでは
	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか				
	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていますか				
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか				
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか				・経験がないだけで体制は整っていると思います ・苦情が特にないです
	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか				ホームページなどで確認していないのでわかりません
	個人情報に十分注意していますか				
非常時等の 対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか				
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか				非常時の薬や食事を常備しているのだと思います
満足度	子どもは通所を楽しみにしていますか				
	事業所の支援に満足していますか				